

レジメンcode:	C45-05
適応がん種:	悪性胸膜中皮腫
レジメン名:	Pembrolizumab維持療法(3週間)
間隔:	3週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	200	mg/body	点滴(30分)	d1

*C45-04:Pembrolizumab+PEM+CBDCA療法後の維持療法

*臨床試験においてPembrolizumabは、Pembrolizumab+PEM+CBDCAを含め、最大35サイクル(2年間)投与

day1

1) 生食	50ml	1 本	ルート確保		
2) キイトルーダ		200 mg/body			
生食	50ml	1 本			
	主管①	点滴	30分	インラインフィルター必須	
3) 生食	50ml	1 本			
フラッシュ					
〈所要時間					

【文献】

海外第Ⅱ/Ⅲ相試験【KEYNOTE-483試験 Lancet.2023;402:2295-306 (PMID:37931632)】

【適応】

臨床試験:化学療法歴のない切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫

PD-L1発現の有無は問わない

【キイトルーダ】

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。ホルモン検査(TSH、T4、ACTH、コルチゾール)は、1ヶ月に1回の実施を推奨。

◎検査セット登録あり:場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫初回)(免疫2回目～)

*インラインフィルター(0.2~5μm)を使用する。

*調製時、又は希釈後に振盪により微粒子が生成される可能性があるため、バイアルは振盪せず、激しく攪拌しない。

*希釈後の最終濃度1~10mg/mlとする。

*生食又は5%ブドウ糖に溶解する。同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。

*希釈後、25℃以下で12時間以内または2~8℃で7日以内に使用する。

*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。

*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。